

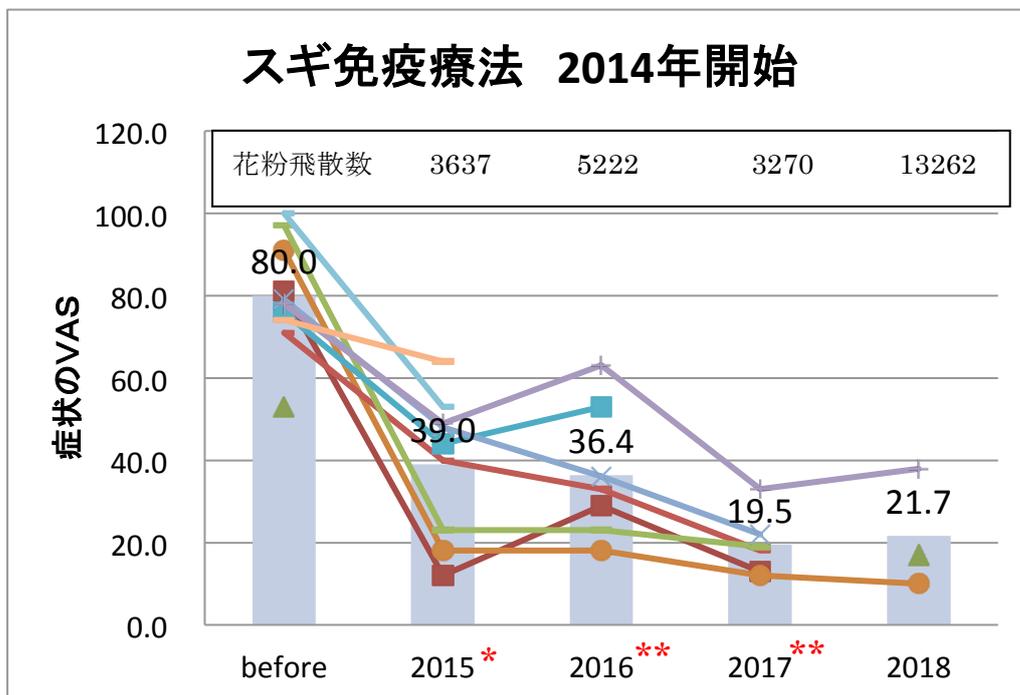
第47回 スギ花粉とダニによるアレルギー性鼻炎の舌下免疫療法 4年経過して

国民病であるスギ花粉症（2008年での有病率は26.5%と報告されています）への舌下免疫療法は、厚生労働省による認可後、2018年に4シーズン目となりました。また、ダニへの舌下免疫療法も開始から2年を経過しました。この間、治療の対象は5歳～11歳のお子さんにも拡大され、一般的な治療となってきました。そこで、今回はこの舌下免疫療法について当院の経験を含めご説明したいと思います。

1. スギ花粉症の舌下免疫療法

当院では、治療開始前から1年ごとに患者さんにアンケートを実施し、花粉症の全般症状（眼、鼻、気道）を評価しています。従来の花粉症治療薬も併用した上での評価です。長さ100mmの物差しで、無症状を0mm、最悪の症状を100mmとして患者さんにチェックして頂きます（VAS: visual analogue scale）。グラフの縦軸はVASが示されており、100に近い程、全般的症状が強いことを示します。2014年から2017年までに当院で舌下免疫療法を開始された方は64名です。治療開始年毎の成績をお示しします。

なお、免疫療法の治療効果は、他の疾患の様に血液など検体検査で簡単に評価できないのが現状で、症状スコア、薬物スコア（使用した薬物に応じてスコア化）、患者さんによる評価（VASなど）等にて判定されています。今回は患者さんによるVAS評価で検討しました。



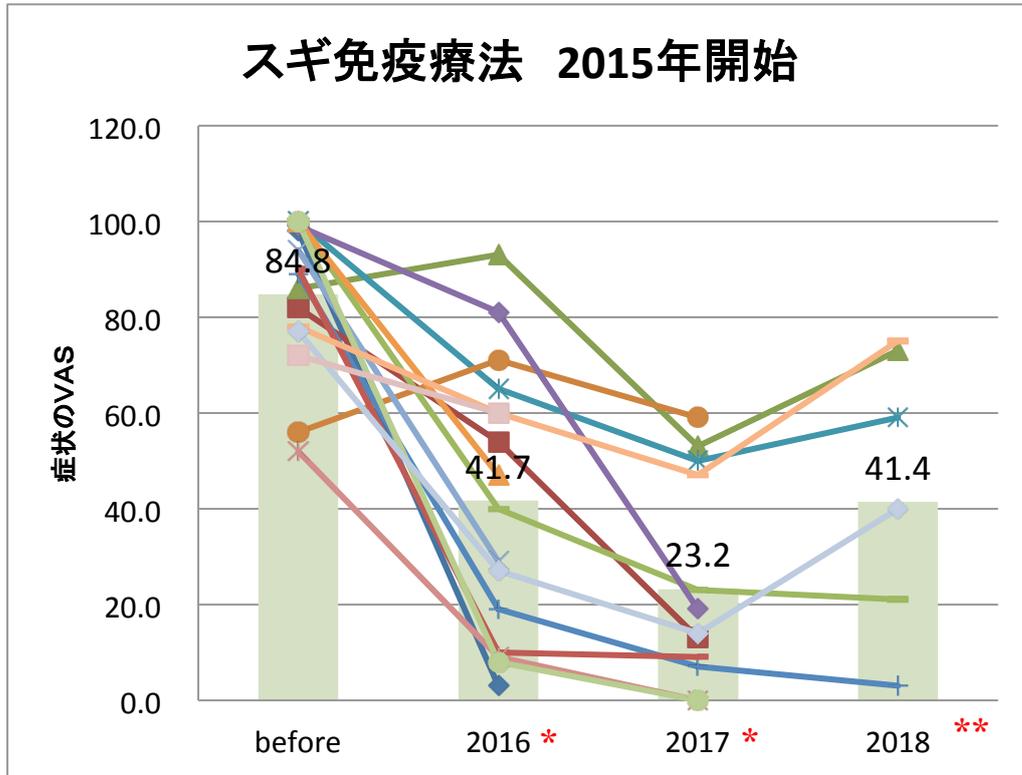
個々の患者さんの症状の推移は折れ線で示されています。棒グラフは平均を示しています（数値は平均値）。年度の上にその年の花粉飛散数（東京都）が記してあります。

以下、全ての図で検定結果の有意水準は下記の通りです。

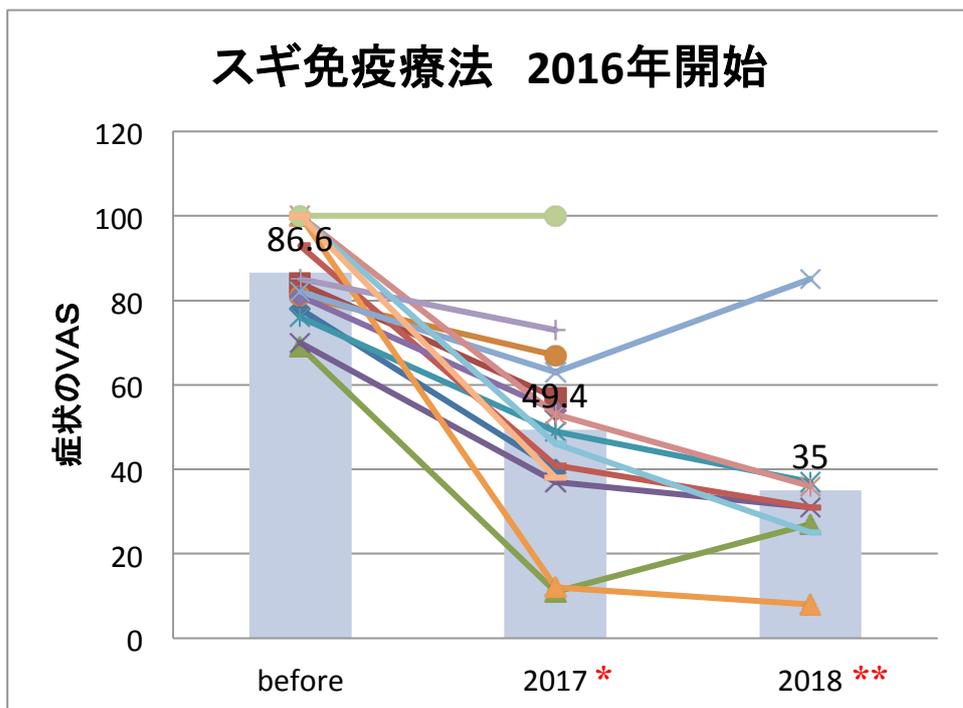
\* p<0.01  
\*\* p<0.05

2014年に治療開始した方は18名でした。開始後1年以内に中断された方が8名で、残りの10名の方を追跡調査させて頂きました。うち6名の方が3年以上継続後、有効のため治療を終了しました。治療開始前と比べ、2015年、2016年、2017年で有意に症状が改善しています（Wilcoxon検定）。治療開始後、経年的にVASの平均値が減少（症状が改善）する傾向にあります。3年後、4年後では症状が4分の1程度にまで改善したことが示されました。2018年は近年では非常に多い飛散数で、東京都の発表では13262個（都内の観測地点12か所の平均）でした。しかし、免疫療法を継続している患者さんでは症状が良好に抑制されていることが推察されます。

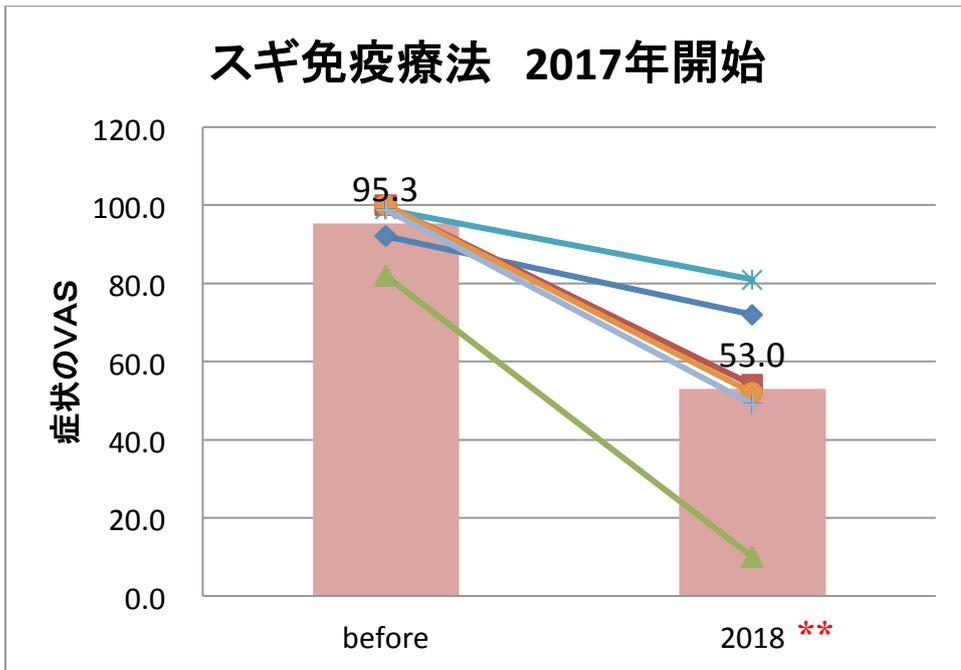
治療年数が増えればスギ花粉症の舌下免疫療法の臨床効果も高まってゆくことが報告されています（湯田ら アレルギー2018 ; 67 : 1011-1019）。1年目より2年目、2年目より3年目、3年目より4年目が更に症状が改善したと述べられています。舌下免疫療法の治療期間は「3-5年を目安とする」とされていますが、4年以上継続すると更なる改善が望めると考えられます。



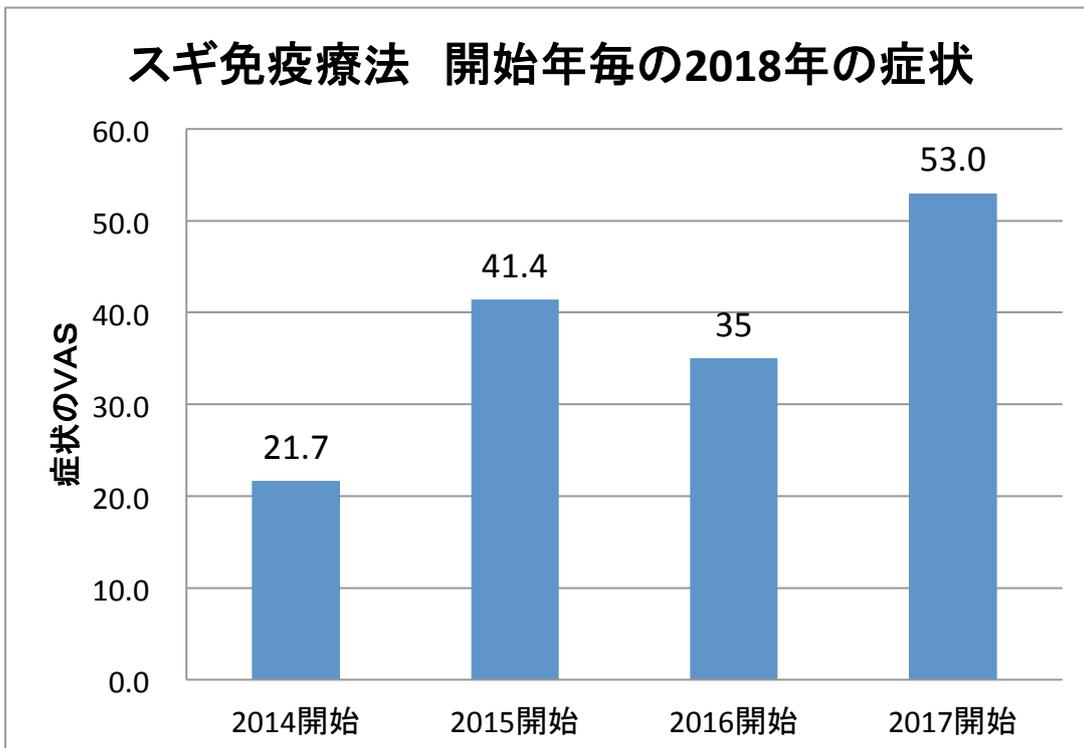
2015年に治療開始した方は21名でした。開始後1年以内に中断された方は4名で、残りの17名を追跡調査させて頂きました。治療開始前と比べ、2016年、2017年、2018年で有意に症状が改善しています（Wilcoxon検定）。



2016年に治療開始した方は18名でした。開始後1年以内に中断された方は3名で、残りの15名を追跡調査させて頂きました。治療開始前と比べ、2017年、2018年で有意に症状が改善しています（Wilcoxon検定）。



2017年に治療開始した方は7名でした。開始後1年以内に中断された方は1名で、残りの6名を追跡調査させて頂きました。2018年は、前述のように近年では非常に多い花粉の飛散数でした。しかし、治療開始前と比べ、2018年で有意に症状が改善しています (Wilcoxon 検定)。

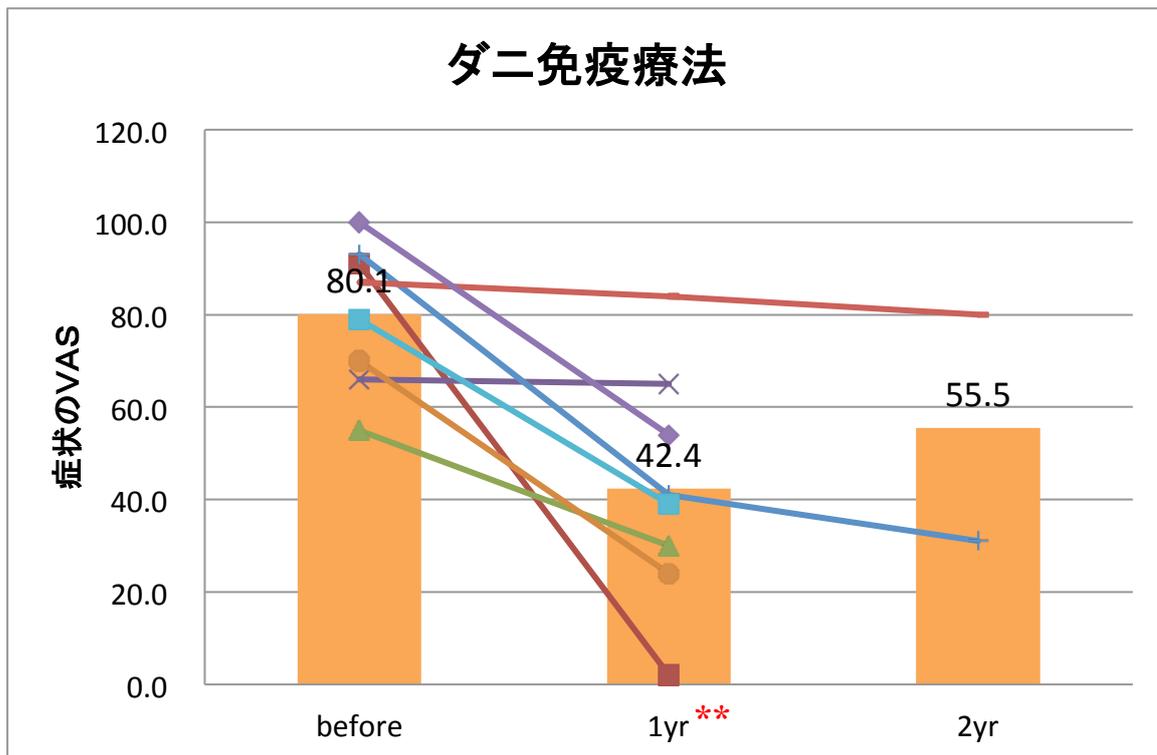


上のグラフは、治療開始年別の、飛散数が多かった2018年花粉シーズンの自覚症状の結果です (数値は患者さん全体の平均値です)。症例数が少ないため検定は実施していませんが、2017年開始 (治療1年間) より2014年開始 (治療4年間)の方が、症状がより軽度の傾向がうかがえます。前述の湯田先生の報告のように、治療期間が長い程効果が高まることが推察されます。

## 2. ダニによるアレルギー性鼻炎の舌下免疫療法

日本でのダニによるアレルギー性鼻炎は増加傾向にあります。1998年から2008年の20年間で、ダニによるものを含む通年性アレルギー性鼻炎の有病率は、18.7%から23.4%へ増加しました（2016年版アレルギー性鼻炎ガイド、ライフ・サイエンス社）。この状況において、ダニに対する舌下免疫療法が2015年に認可されました。

ダニに対する舌下免疫療法も、治療期間はスギ花粉症と同様に3年以上が推奨されています。



ダニによるアレルギー性鼻炎に対し当院ではアシテア錠を使用しています。12名の方に治療を開始しました。平均年齢は20.5歳と若く、15歳以下の方が8名でした。注射による免疫療法に抵抗があるお子さんでも、舌下免疫療法は受け入れられています。1年以内に中断された方が2名で、残りの10名の方を追跡調査させて頂いています。うち、1年後以降に中断された方が2名いらっしゃいます。治療開始前と比べ、1年後で有意に症状が改善しています (Wilcoxon 検定)。VASで見ると、1年後には症状が約50%改善したことになります。2年後は、現時点では症例数が不足しており、有意差は出ませんでした。今後実施患者さんが増加すると、効果の程度が判明してくると考えられます。